

日進通商株式会社

りんご 

(1) 中国 ー7月末西安で開かれたリンゴ会議よりー

2020/21 新クロップは春先の霜害と長雨の影響で、収穫量は昨年と比較し減少。予想としては昨年比 約5%減少の40百万トンレベル。主要生産地の収穫状況は下記の通りです。

*山東省、東北部は通常レベル。 *山西省と河南省は10~20%減

*陝西省は10~15%減 *甘肅省は30%減、寧夏は70%減

濃縮リンゴ果汁生産量： 56万トン（2019年） 50~55万トン予想（2020年）

8月初旬から早生りんごの加工をスタートするも、糖度が低く原料価格はRMB 680~700/MT、今後の予想としてはRMB800~850/MT。 コロナ禍の中、リンゴ果汁の需要は低く、価格は軟化傾向である。

(2) ヨーロッパ

2020/21 ヨーロッパの収穫量は1,070万トンの予測、最大産地のポーランドの新クロップは春先の霜害の影響が5月まで続きましたが、現在のところ2019年度の291万トンより17%増の収穫予想で340万トン。 COVID-19の影響で生果の需要が大きく伸び、フレッシュ市場のりんご価格は上昇している。シーズン初めは、生果のサイズも小さく加工に回るものが多く、酸度は高め（ブレンドする原料が少なく）である。

トルコのクロップは、天候不順もなく例年並みの予想。

(3) 南米アルゼンチン

アルゼンチンはリンゴのフレッシュ輸出が好調で今年1月~4月に278千トンを輸出、昨年比14%上昇。

(4) ニュージーランド

収穫量は微増、生産量は593,000トン、特に青リンゴのグラニースミスの輸出が3月~4月は好調。

柑橘オレンジ・グレープフルーツ

オレンジ: 🍊

米国の小売市場：オレンジジュース消費が増大

オレンジ先物相場は上昇傾向（4月 US\$1.10/lbs 5月 1.20/lbs 7月 1.28/lbs）にありましたが、8月に入り US\$1.15/lbs と軟化してきています。 コロナ禍の中、スーパーマーケットでのオレンジ果汁の需要はいまだに堅調ですが、特にドライ果汁の販売は急増しております。

(1) フロリダ 🍊

2019/20(6月)の USDA オレンジ収穫量は 67 百万箱(対前年比 6%減)33 万トン(65bx 換算)、EM 種 29.6 百万箱、バレンシア種 38 百万箱。 2020/21 年のクロップはいまのところ順調で、ハリケーンの問題がなければ 70 百万箱を上回ると予想されている。

グレープフルーツ: 🍇 フルーツ

オレンジ果汁同様に米国での GF 果汁の消費も順調に伸びている。 2020 年の搾汁は終了。

USDA の 2020 年 6 月発表では対前年比 8.4%増の 489 万箱、しかしながら日本市場に人気のホワイト GF は 79 万箱と依然として少なく、果実サイズも小ぶりで色も平均以下。 グレープフルーツの植樹計画が今後どのような展開がみられるか注視。 今年は米国テキサス州などに 7 月からハリケーンが上陸しており、フロリダ州も警戒を強めている。

(2) ブラジル 🍊

新クロップ 2020/21 は昨年 9 月の干ばつにより、開花に影響が出たため大幅に減産となり、前年度の大豊作から一転し 100 万箱減産の 288 百万箱(26%減)濃縮換算では約 102 万トンと昨年 131 万トンと比較し 29 万トン減産予定。

(3) メキシコ 🍊

2020/21 クロップは干ばつと高温の影響で収穫減少とみられている。

メキシコはコロナ禍で、FCOJ の需要がホテル、レストランの休業で消費がおちている。

(4) 南アフリカ 🍇 フルーツ

2020 年度の搾汁シーズンは最盛期、赤系の供給は順調との事。 現在赤系 GF 果汁の価格は US\$2,200/MT CFR ヨーロッパと安価ですが、糖酸比は 8~8.5 と低い。

ブドウ

(1) 米 国

2020/21年のWELCHコンコードグレープの収穫量は対前年比16%減少の21万1千トン(西地区ワシントン州は19%減、東部は21%減、中部11%増)と著しく収穫量が減少しており価格が上昇する予想。

この主要因は天候不順による減少(西地区での秋に霜害と東地区での春先による霜害の影響で木がやられた)と作付け面積の減少、収益性の関係でホップなどへの転作(契約農家が1000戸から現在は800戸にまで減少)が原因です。

(2) ブラジル

2020年は降雨量が少なく、干ばつの影響で収穫量が2割~3割減少し、価格も上昇しており、テクノピンの販売価格も昨年よりも10%上昇。

(3) アルゼンチン

2020年は1月の豪雨と霜、あられの影響で収穫量は対前年比3割減少、繰越在庫も少なく価格は上昇傾向。 ホワイトGJの需要は世界的にみても順調ではある。

(4) チリ

2020年は干ばつとアンデス山脈の降雪量不足の水不足の影響で収穫量は減少(2019年豊作)。

(5) スペイン

2020/21年は白、赤グレープ共に2月からの冬の降雨量が多く収穫は回復傾向。

レモン

アルゼンチン

2020年上半期の濃縮レモン果汁の輸出量は3万トンに達し、2019年の2万トンの50%増と好調。このままいくと年末12月には9万トンに達すると(2019年は6万1,600トン)予想されております。米国が最大の消費国で、上半期だけでも8千トンを輸出。

アルゼンチンの透明レモン果汁400GPLのFOBブエノスアイレス価格はUS\$1,750~1,800/トン。

パインアップル (タイ 価格上昇)

ヨーロッパからの需要が減り続けており、タイ産のパインの原料価格が上昇していると共に、収穫の労働力不足(移民)と干ばつによる影響で夏実は大幅に減少すると予想。果汁の価格は現在US\$2,200/FOBと高めに推移。次期冬実(10月~)についても高値が予想されます。

～Diana Food 社 チリ国 のご紹介～

濃縮野菜とフルーツ果汁（プルーン）：

Diana Food チリは首都サンチアゴ近郊で南方に約 40 kmとマイポバレー地区に位置し、東はアンデス山脈、西は大西洋に挟まれた地中海性気候の穏やかな場所です。バルパライソ港にも約 2 時間と近距離にあり、地の利が良いのが特徴です。またチリは南北に 4,000km と長く、寒帯から亜熱帯まで幅広い気候に、フルーツ、野菜等が豊富な土地柄です。

野菜カレンダー (播種時期 定植時期 収穫時期)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
アスパラガス 20 bx						
ケール 30bx	黄色	黄色		緑	緑	
パセリ 30bx						
クレソン 20bx						
赤ピーマン 30bx			緑	黄色	黄色	
白菜 40bx	赤	黄色	緑	緑		
スコッシュ 30bx			緑			

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アスパラガス			緑	緑	赤	赤
ケール				赤	赤	
パセリ			緑	緑	黄色	黄色
クレソン 野生				緑	緑	
赤ピーマン			赤	赤		
白菜 (年2回)		赤	黄色	緑	緑	
スコッシュ			赤	赤		